







グループ6(前半)

テーマ 市民ニーズや時代の変化に対応した市民への広報のあり方について

～(前半) 市民ニーズや時代の変化に対応した市民への広報のあり方についての課題～

あなたは広報さっぽろを読んでいますか？

よく読んでいる:6人
たまに読んでいる:0人
読んでいない:0人

読む対象は誰かを考えて工夫

大人向けの見せ方
高齢者にとってマンガは読みづらい

子どもに向けた発信も
大人向けだけでなく
子ども向けのものもあれば
親子で読むきっかけに

見やすくするために広告枠も工夫が必要
広告枠...
みんなに配るためにはお金も必要
広告枠は必要だが、見やすくするために場合によって小さくするなど
扱いを工夫する必要もあるのでは

勤め先と住んでいる区がちがうと
暮らし情報が見えない

なぜ読む気にならない？

字が多い
字が多い
目次の存在が薄い、工夫を！

めんどう
面倒？

一人暮らし向けの情報がない
家族向きの記事が多い

・TVなどは、時間的に一過性のものなので、仕事中は見えない時刻を合わせて見ようと思わない

東区は人口が多く情報を多く発信しており、余白がないようだ

施設やイベントの件数もちがう(詳しくはちがう)

各区の広報にちがいがあ
市として統一必要では

どんな記事だと読むのか

グラフ、写真、絵がある
グラフがあると読む気になる
絵、写真なども

介護にかかわる情報がある
介護情報を載せてほしい
家族を介護しているときに
相談先を知りたかった

特集をされている記事がある
最初のページ(特集、記事)
今、話題のところは読む

相談先となる部署

市の各部署がわかると、どこに相談に行ったらいいかわかる
・必要=行政と関わる事案は、関係部署に行く

①住宅に関する情報 市営住宅など
②税金に関する情報
③各区の動向、他区との比較など

イベント情報がある

興味のある記事のみ オータムフェストなどのイベント

役立った情報

相談窓口がわかった
法律相談
市営住宅の募集
役立った情報
相談窓口がわかった

イベント、講座情報を活用している

イベント情報を活用している
講座やイベント情報をよくチェックするようになった(退職後)
健康的になりたいと思ったので(健診 体操 他)

グループ6(後半)

テーマ 市民ニーズや時代の変化に対応した市民への広報のあり方について

～(後半) 市民ニーズや時代の変化に対応した市民への広報のあり方についての提案～

高齢者の生活に役立つ情報を

詐欺にあわない特集があった
定期的な情報発信が必要
個人情報の扱いに気をつけるように啓発
事例も含めて詳しく紹介

定期的な情報更新を
高齢者が利用する施設情報や窓口情報

緊急性のある話題を
早く知らせしてほしい情報がある
犯罪
洪水や災害の情報

ホームページは見出しをわかりやすく

若い人は冊子よりネットの方が見やすい
見出しをわかりやすく

セキュリティをしっかりする

インターネット改ざん等のセキュリティ対策が必要

誰にでも平等に伝わるように

場所・時間・方法は多様に
みんなに平等に情報がいきわたるように
広報さっぽろのほか、いろんな手段で伝えてほしい
みんなが行くスーパーなどに広報誌・チラシを置く
広報率をもっと活用しては？

広報さっぽろ以外の広報手段が知られていない

広報番組の内容を詳しく伝え、もっと見てもらえるように

もっと見やすい時間の放送にする
放送は一過性でその時見ないと終わり
広報番組は録画しなくても見られる時間に
番組表が小さくて見づらい
内容がわかる表記が必要
1ヶ月分、毎放送分の内容がわかるように発信する

町内会費の支払いに関わらず、全ての人に配布

町内会費の払いに関わらず、全ての市民に行き渡るよう

広報さっぽろ
区民のページを増やし、生活に身近な情報をもっと発信

区民のページを増やしてはどうか

広告枠を増やす等工夫

もっと身近な情報を載せてほしい(住まい以外の地区センターのことも)

窓口の一覧も載せておく

広報全体として経費は年間14億(広告料をさしひいて)

読数を調べてる?
⇒市全体で6千〜7千部あまっている